

連載第68回 横浜市会議員 たけのうち猛 市民とともに



横浜市会議員 たけのうち猛
 <ご相談・ご連絡先>
 公明党金沢支部事務所:
 金沢区富岡西 3-38-1-101
 TEL: 080-9804-9782
 FAX: 045-345-4345
 info@takenouchi-takeshi.com
 http://www.takenouchi-takeshi.com/

並木の地域交通の課題解消を模索 市営バス94系統の廃止、294系統の再編を契機に

並木地域を
 発着点として、
 それぞれ金沢
 区役所・新杉
 田駅方面と結
 ぶバス路線で
 すが、平成元
 年のシーサイ
 ドライン開通
 に伴い利用が
 激減し、大幅
 な赤字が恒常
 的な課題とな
 っていました。

単なる廃止・減便ではなく、課題解消への工夫を要望

「公共交通として、赤字を出しても、住民の利便性維持のために路線を廃止すべきでない」という意見がある一方、少子高齢化とともに横浜市の財政悪化が進む中、市営交通の自立経営がより強く求められており、持続可能な交通事業のために路線の改廃含む議論を避けて通ることはできません。

昨年12月に横浜市交通局より、「94系統の廃止、294系統の減便」との方向性を案を伺った際に、私からは、「経営状態の改善のために、見直しを行う事はや



むを得ない」と一定の理解は示しつつ、①連合町内会はじめ地元の方々の理解を得られるよう、丁寧な説明を行って頂きたい。また、②単なる廃止や減便ではなく、積年の課題である並木2丁目・3丁目との交通空白(区役所方面へのアクセス)の問題を解消できる方法を検討頂きたいということをお願いしました。

住民・事業者・行政の協力で新たな地域交通を模索

地域交通の維持・充実には、並木地域に限らず、区内・市内全域にわたる大きな課題で、横浜市でも最重要課題の一つとして様々な取組を進めています。例えば、道路局の地域交通サポート事業は六浦片吹、釜利谷、高舟台地域で本格運行、湘南八景地域で実証運行が行われています。いずれも、単なる行政への要望から実現したものではありません。各地域の住民の皆さまが主体となって協議を行い、路線収支改善のための積極利用も呼びかけ、望があったことから、交通局として「並木3丁目〜1丁目」アウトレットパーク「国道16号・京急富岡駅前・能見台駅前」循環器呼吸器センターを循環する「ター前」を循環する新たな294系統のルート案を提示し、早期の運行開始に向けた調整を行っています。

今後さらに高齢化が進むと、既存のバス路線の利用も難しく、タクシィのような「ドアトゥードア」の交通サービスのニーズも高まってきます。富岡地域では京急電鉄と横浜市の協定によるオンデマンド交通「とみおかー」との実証運行が行われていますが、こうした先駆的な取組を参考に、交通局と共に、時代を先取りした交通サービスの積極的な検討も進めて参ります。